

性能評価型(事例19) 高負荷モード変更による水質改善事例

【槽内状況】



維持管理要領書より 6人槽 循環水量(1.7~2.50/分) 逆洗設定1日・2回・5分(移送量6~90/分)

事例番号	19		浄化槽メーカー	フジクリーン工業(株)		
処理方式	性能評価型 BOD除去型		浄化槽型式	CS		
法定検査日	平成 24 年 9 月 24 日	人槽	6人槽	使用人員	3人	
測定項目	1次処理 1室	1次処理 2室	2次処理	処理水槽/沈殿槽	放流水	
スカム厚(cm)	3	1	—	0	透視度	17 度
堆積汚泥厚(cm)	32	35	—	28	DO	0.1 mg/ℓ
透視度(度)	7	9	13		pH	7.6

法定検査からの 状況連絡・指示内容	槽内状況	各室のスカム厚は少なく、堆積汚泥厚が多く白濁している。 1次処理(2室) 流出水透視度 9度 放流水透視度 13度 DO 0.1mg/ℓ 逆洗設定:1日1回10分(10ℓ/分) 循環水量:1.0ℓ/分 日平均汚水量 0.84m ³ /日 採水時間13:50				
	対策	2次処理槽の負荷が高くDOが低下している為、高負荷モードへ変更する。 2次処理槽への負荷を軽減する為、循環水量を停止する。				
保守点検からの措置 返信内容	9月26日	指示通り調整する。 ブロワを高負荷モードに変更する。 1次処理流出水透視度 8度			透視度	15 度
	10月10日	逆洗30分実施後、汚泥移送を行う。 1次処理流出水透視度 12度 処理水槽堆積汚泥厚 16cm			DO	0.1 mg/ℓ
	10月24日	逆洗20分実施後、汚泥移送を行う。 1次処理流出水透視度 17度 処理水槽堆積汚泥厚 9cm			pH	7.7
	11月7日	透視度回復。1次処理流出水透視度21度 処理水槽堆積汚泥厚 5cm			透視度	19 度
保守点検	DO回復の為、通常モードに戻し様子を見る。			DO	0.6 mg/ℓ	
				pH	7.6	
				pH	26 度	
				DO	1.4 mg/ℓ	
				pH	7.4	
				透視度	43 度	
				DO	1.6 mg/ℓ	
				pH	7.4	

【ポイント】



① 汚泥移送バルブと汚泥移送管
2次処理槽内に発泡があり白濁している。

② 逆洗直後の移送汚泥の状況
30分経過後89%(白濁が多い)

③ ブロワ制御装置:通常は散気時40ℓ/分で稼働
表示切替と手動逆洗ボタンを同時に5秒以上押し続けると「88」と表示され高負荷モード80ℓ/分に切替る。